

私たちの住んでいる四国にはお遍路さんをお接待という行為でもてなす生活文化があります。

お接待から生まれるものや得られるものは何でしょう。



「日本の食生活全集37 聞き書 香川の食事」（農文協刊）より転載 撮影・小倉隆人

## ① お接待について調べよう

### 1 お接待について

白装束で鈴の音を響かせながら歩くお遍路さんたちをふるさと各地でよく見かけます。暑い日寒い日、遠路はるばる巡拝されるそうしたお遍路さんたちへ、お茶や食事などをふるまい、その労をねぎらうことを「お接待」といいます。

弘法大師空海が四国の地に八十八か所の霊場を定め、修行の場を設けて以来、四国の人たちはお遍路さんを温かく迎える美しい風習「お接待」を今日まで脈々と受け継いできました。

湯茶・菓子などを無償で提供しもてなす人と「お接待」を受ける人との間に温かい心の交流を感じます。

### 2 お接待の場所・内容

お接待の場所や内容にきまりがあるというものではありません。地元の人たちが自発的に、「お遍路ご苦労様。おもてなしをさせていただきます。」といった心を表したもののなのです。

お接待は、遍路道沿いの家々や道標や常夜灯の側、お寺の境内など様々な場所で行われています。お接待の内容としては、①物品の提供（うどん・お茶・パン等の食べ物や袋・タオル等の日用品）②金銭の提供③行為の提供（道案内・荷物のあずかり・温かい言葉かけ等）④宿泊場所の提供など、いろいろあります。



おへんろ交流サロンの説明版より



空海ゆかりの四国八十八か所を巡礼（お参りしてまわる）することは、特に四国遍路と呼ばれている。

遍路の歴史は古く、平安時代の『今昔物語』に登場している。鎌倉時代や室町時代の書物にも一部登場するが、現在の四国遍路の形式のもとは江戸時代に入ってからである。遍路道が整備された、江戸時代の終わり頃に最も盛んになったといわれている。

香川県自然科学館

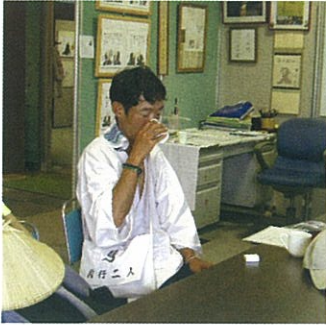
『見たい!知りたい!五色台!—自然と歴史ガイドブッカー』平成15年3月

### 3 お接待の様子

さぬき市前山に「おへんろ交流サロン」という施設があります。ここでは、お接待も行われ、お遍路さん同士の心ふれあう情報交換の場となっています。また、遍路文化を知ることのできる「へんろ資料展示室」も併設しています。お接待について施設の方やお遍路さんに聞いてみました。



おへんろ交流サロン



私は、神奈川県から自分の弱い心を強くしたいと遍路に出ました。何度か途中でやめて帰ろうかと思いましたが、温かい声かけやお茶等のお接待に励まされて、巡礼もあと1つ（大窪寺）を残すだけとなりました。暑い時期に、「お疲れ様」と差し出された冷たい水がのどを通るときは、身も心も安らぎます。今日もありがたくいただきました。

私がお接待を始めたきっかけは、無事に八十八か所の巡礼ができることを願って、少しでも疲れをいやして頂きたいという気持ちからです。

お接待をするのではなく「させていただく」という気持ちでしています。する側もとてもいい気持ちになりやすくなります。

お遍路さんが喜んでくれるのが私にとっても喜びなのです。



「四国霊場を巡って残すところ一か寺だけになったお遍路さんにこの『おへんろ交流サロン』でほっと一息ついて頂く。四国遍路の歴史をたどる資料を見ながら感動して頂く。それが唯一私にできるプレゼントですわ。」

ほくとつとした口調でお接待への思いを語る木村さん。

#### お接待の動機

- ◎お遍路さんを助けたい
- ◎先祖の冥福めいふく
- ◎願掛けや願いがかなったお礼がんか
- ◎弘法大師信仰
- ◎自分が受けた接待の返礼
- ◎人に奉仕するため

## ② お接待の体験から考えてみよう

### 1 おへんろ交流サロンでの体験

平成16年8月26日に中学生13名が、お接待の体験活動を行いました。うどんのお接待をした後、途中でどんなお接待を受けたか、お接待を受けた時の気持ち、四国に根付くお接待をどのように思っているか等をお遍路さんにインタビューしました。



## ◎お接待を体験しての気持ち

お遍路さんが「ありがとう」と喜んでくれて「店で食べるうどんよりおいしい」と言ってくれました。すごくうれしかったです。

お遍路さんの笑顔が見られて、とても気持ちが良かったです。他人のために何かさせてもらえることは、とても良いと思います。

お接待は心だと思います。受けた人も、した人もいい気持ちになると思いました。

人のやさしさやありがたさがよく伝わり、温かい気持ちになりました。知らない人だけど、昔からの知り合いのように感じました。

## ◎お接待を受けたお遍路さんの気持ち

私が住んでいる所では、あり得ない事で大変うれしかったです。温かい真心を感じて、やさしい気持ちになれました。

私も、他人を思いやる気持ちが自然にわき、人にやさしくできるようになりました。このお接待をずっとこれからも続けて欲しいと思います。



物だけでなく、言葉でも温まり、ほっとして疲れが取れました。声かけで気持ちが励まされると知りました。しかも、お接待は昔のことだと思っていたので、受けたときはとてもうれしかったです。

お接待を引き継いでいくことは、すばらしいと思いました。

## 2 島四国 —させていただきますの精神—

詫間町の粟島では、旧暦の3月21日が島四国の日です。静かな島に多くの参拝者が降り立ち、チリンチリンと鈴の音が響きその年一番のにぎわいとなります。むかえる島の人たちは、朝早くから、島民全員でお接待でもてなします。粟島中学校では、「させていただきますの精神」「お接待の心」「粟島の心」を学ぶ大切な活動となっています。



「島四国」とは、四国八十八カ所にちなんでつくられた島にある霊場をいいます。瀬戸内のほとんどの島にあります。

…今年も旧暦の3月21日にあたる5月9日に行われました。私たち中学生も参加しました。お接待をしてくださる人たちは、みんな自然な笑顔です。この笑顔を見ると、こちらも自然に笑顔がでできます。「お接待をされていて、

うれしくなるときはどんな時ですか。」と70歳を越えるおばあさんにインタビューしてみると「お接待を受けている人が喜んでくれるところだね。」と答えてくれました。

午後からはお接待をさせていただきました。お茶を差し出すとき「どうぞ」と言うと「ありがとう。おいしかったよ。」と言ってくれる人がいました。すると自然に「ありがとうございました。」と言葉が出てきました。確かに、今朝おばあさんが話していたように、お接待をさせていただいているから味わえる喜びがここにはありました。

他人の喜びを自分の喜びにできることはすごいことだと思います。

—粟島中学校 生徒作文より抜粋—



### ③ もてなしの心を受け継ごう

四国（香川県）の人たちはお接待という交流を通して、人と人が触れ合うことの大切さや感謝の気持ち、信頼、思いやりの心、奉仕の心を育み地域に根付かせてきました。

この心を受け継ぎ「お接待の心でもてなし」を合い言葉に、自分たちで取り組めることを積極的に始めてみましょう。

さあ、あなたはどんなことから始めますか？



#### あいさつ運動

出会った人に心がこもったあいさつをしてみよう。

あいさつを受けた人はどんな気持ちになるでしょうか？



そうだね。ボランティア活動もいいね。自分たちができることから、できる範囲で始められるといいよね。  
活動しやすい夏休みを利用する方法もあるよ。



#### 高齢者福祉施設訪問

高齢者との対話や生活の介助を進んでしてみよう。



#### 地域清掃奉仕活動

空き缶拾いや海浜清掃・駅など公共の場の清掃活動に参加してみよう。

**親切運動**  
困っている人には『どうしたの?』と一声かけてみよう。

**地域行事への参加**  
祭りなど地域の伝統行事に参加してみよう。

#### 親切な青鬼くん



香川県の「観光客を温かく迎える親切運動」のマスコットキャラクターの『親切な青鬼くん』です。親切な青鬼くんは、童話「泣いた赤鬼」に登場するやさしい青鬼です。  
友達の赤鬼のために、故郷を去り旅に出た青鬼くんは香川県に立ち寄ったとき、人々の温かいお接待の心に感謝し、そのまま住み着き、親切の輪を笑顔で広げています。

